

(12) 特許協力条約に基づいて公開された国際出願

(19) 世界知的所有権機関
国際事務局

(43) 国際公開日
2021年12月30日(30.12.2021)



(10) 国際公開番号

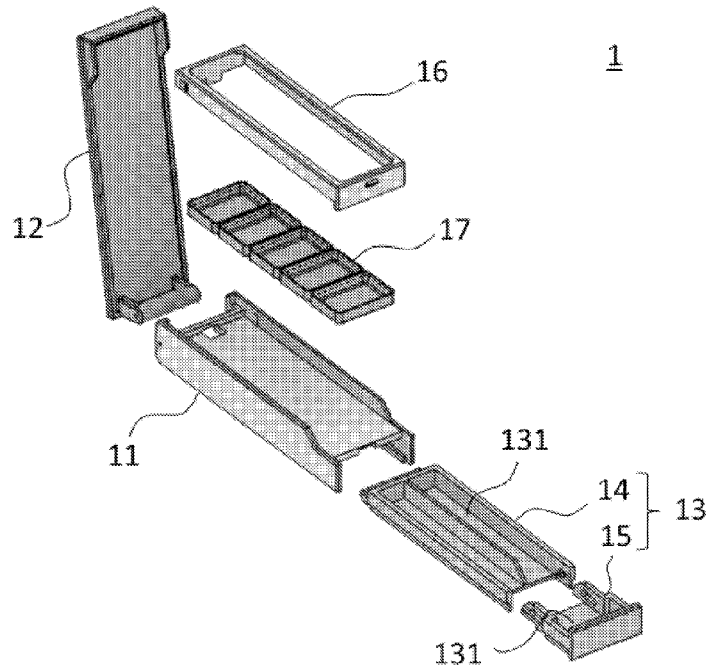
WO 2021/261130 A1

- (51) 国際特許分類:
A45D 33/00 (2006.01)
- (21) 国際出願番号: PCT/JP2021/019166
- (22) 国際出願日: 2021年5月20日(20.05.2021)
- (25) 国際出願の言語: 日本語
- (26) 国際公開の言語: 日本語
- (30) 優先権データ:
特願 2020-110465 2020年6月26日(26.06.2020) JP
- (71) 出願人: 株式会社タイキ (TAIKI CORP., LTD.)
[JP/JP]; 〒5340014 大阪府大阪市都島区都島
北通1丁目2番16号 Osaka (JP).
- (72) 発明者: 星加 嗣徳 (HOSHIKA, Tsugunori);
〒5340014 大阪府大阪市都島区都島北通1丁
目2番16号 株式会社タイキ内 Osaka (JP).
中村 興司 (NAKAMURA, Koji); 〒5340014 大
阪府大阪市都島区都島北通1丁目2番16
号 株式会社タイキ内 Osaka (JP).
- (74) 代理人: 山田 泰之, 外 (YAMADA, Yasuyuki et
al.); 〒1010061 東京都千代田区神田三崎町2-
21-2 プライム水道橋ビル6階 Tokyo (JP).
- (81) 指定国(表示のない限り、全ての種類の国内保
護が可能): AE, AG, AL, AM, AO, AT, AU, AZ,
BA, BB, BG, BH, BN, BR, BW, BY, BZ, CA, CH,
CL, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DJ, DK, DM, DO, DZ,
EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, GT, HN,

(54) Title: MAKEUP COMPACT

(54) 発明の名称: 化粧用コンパクト

[図1]



(57) Abstract: [Problem] To provide a makeup compact that makes it easy to take out a stick-shaped cosmetic application tool. [Solution] Provided is a makeup compact having: a main body that has a holding part for holding a cosmetic; a lid body that is connected to the main body and opens/closes the holding part; and a drawer part in which a recessed section is formed for accommodating the stick-shaped cosmetic application tool and which can be put in/taken out of the main body and/or the lid body. The drawer part is provided with a base section and a tip section flexibly connected to the base section.



WO 2021/261130 A1

HR, HU, ID, IL, IN, IR, IS, IT, JO, JP, KE, KG, KH, KN, KP, KR, KW, KZ, LA, LC, LK, LR, LS, LU, LY, MA, MD, ME, MG, MK, MN, MW, MX, MY, MZ, NA, NG, NI, NO, NZ, OM, PA, PE, PG, PH, PL, PT, QA, RO, RS, RU, RW, SA, SC, SD, SE, SG, SK, SL, ST, SV, SY, TH, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VC, VN, WS, ZA, ZM, ZW.

- (84) 指定国(表示のない限り、全ての種類の広域保護が可能): ARIPO (BW, GH, GM, KE, LR, LS, MW, MZ, NA, RW, SD, SL, ST, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), ユーラシア (AM, AZ, BY, KG, KZ, RU, TJ, TM), ヨーロッパ (AL, AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HR, HU, IE, IS, IT, LT, LU, LV, MC, MK, MT, NL, NO, PL, PT, RO, RS, SE, SI, SK, SM, TR), OAPI (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, KM, ML, MR, NE, SN, TD, TG).

添付公開書類 :

- 一 国際調査報告 (条約第21条(3))

(57) 要約 : 棒状化粧料塗布具が取り出しやすい化粧用コンパクトを提供することを課題とする。解決手段として、化粧料を保持する保持部を備える本体と、前記本体に接続され、前記保持部を開閉する蓋体と、棒状化粧料塗布具を収納する凹部が形成され、前記本体、前記蓋体のいずれか、または両方に出し入れ可能に收容される引出部と、を有し、前記引出部が、基体部と、前記基体部に対して屈曲可能に接続された先端部とを備える化粧用コンパクトを提供する。

明 細 書

発明の名称：化粧用コンパクト

技術分野

[0001] 本発明は、アイシャドウ、アイブ로우等の化粧料を収容する化粧用コンパクトに関する。

背景技術

[0002] アイシャドウ、アイブ로우等の化粧料を収容する化粧用コンパクトとして、蓋体を開いた内部に凹部を備え、この凹部に棒状化粧料塗布具を収納することにより、棒状化粧用塗布具を一体で持ち運び可能なものが知られている。

化粧用コンパクトは、持ち運ぶ際に嵩張らないように小型であることが求められるが、化粧料を保持するスペースを優先するため、棒状化粧料塗布具を納める凹部は狭く、棒状化粧料塗布具を取り出しにくいという問題がある。また、収納されている棒状化粧料塗布具は短く、使い勝手が悪い。さらに、蓋体を開かないと棒状化粧料塗布具が取り出せないため、気軽に化粧ができないという問題がある。

化粧料塗布具を取り出しやすい化粧用コンパクトとして、例えば、特許文献1には、蓋体を開けると同時に、化粧ブラシを収容する凹所の底面を持ち上げるコンパクト容器が、特許文献2には、前方中央に切欠き部を備え、この切欠き部に化粧料塗布具の中央部が嵌合するコンパクトケースが、提案されている。

先行技術文献

特許文献

[0003] 特許文献1：実開昭58-84008号公報

特許文献2：特開2005-160633号公報

発明の概要

発明が解決しようとする課題

[0004] 本発明は、棒状化粧品塗布具が取り出しやすい化粧用コンパクトを提供することを課題とする。

課題を解決するための手段

[0005] 本発明の課題を解決するための手段は、以下のとおりである。

1. 化粧料を保持する保持部を備える本体と、
前記本体に接続され、前記保持部を開閉する蓋体と、
棒状化粧品塗布具を収納する凹部が形成され、前記本体、前記蓋体のいずれか、または両方に出し入れ可能に收容される引出部と、を有し、
前記引出部が、基体部と、前記基体部に対して屈曲可能に接続された先端部とを備えることを特徴とする化粧用コンパクト。

2. 前記凹部が、前記基体部と前記先端部の両方に亘って形成されていることを特徴とする1.に記載の化粧用コンパクト。

3. 前記基体部と前記先端部の一方が長円突起、他方が長孔部と回転部とからなる孔部を有し、
前記長円突起を前記孔部に嵌め込むことにより、前記先端部が前記基体部に接続されることを特徴とする1. または2.に記載の化粧用コンパクト。

4. 化粧料を保持する保持部を備える本体と、
前記本体に接続され、前記保持部を開閉する蓋体と、
棒状化粧品塗布具を収納する凹部が形成され、前記本体、前記蓋体のいずれか、または両方に対して出し入れ可能に收容される引出部と、を有し、
前記引出部が、先端側に低壁部を備える側壁を有することを特徴とする化粧用コンパクト。

発明の効果

[0006] 本発明の化粧用コンパクトは、蓋体を開けた状態はもちろん、閉じた状態でも引出部を引き出して、棒状化粧品塗布具を取り出すことができる。引出部が、基体部と、この基体部に対して屈曲可能に接続された先端部とを備える本発明の化粧用コンパクトは、先端部を屈曲させることで棒状化粧品塗布具の一端が露出し、棒状化粧品塗布具の露出した一端を上方から摘んで取り

出しやすい。引出部の側壁が、先端側に低壁部を備える本発明の化粧用コンパクトは、棒状化粧料塗布具の側面を摘んで取り出しやすい。そのため、本発明の化粧用コンパクトは、外出先等で化粧を気軽に手早く行うことができる。

[0007] 本発明の化粧用コンパクトは、蓋体を開いた内側に棒状化粧料塗布具が収容されていないため、内面のほぼ全面に化粧料を設けることができ、小型でありながらも多色、多量の化粧料を保持することができる。

本発明の化粧用コンパクトは、化粧用コンパクトの奥行きとほぼ同じ長さの棒状化粧料塗布具を収納することができるため、長くて持ちやすい棒状化粧料塗布具を収容することができる。

本発明の化粧用コンパクトは、引出部を本体から取り外して洗うことができるため、衛生的である。また、化粧料、棒状化粧料塗布具を新たなものに交換した場合、引出部を洗浄することにより、これまでに使用していた化粧料による汚染を防止することができる。

図面の簡単な説明

- [0008] [図1]第一実施態様である化粧用コンパクトの分解図。
[図2]第一実施態様である化粧用コンパクトの分解図。
[図3]第一実施態様である化粧用コンパクトの蓋体を閉じた状態を示す図。
[図4]第一実施態様である化粧用コンパクトの蓋体を開けた状態を示す図。
[図5]第一実施態様である化粧用コンパクトの本体と蓋体を示す図。
[図6]第一実施態様である化粧用コンパクトの引出部の分解図。
[図7]第一実施態様である化粧用コンパクトの操作を示す図。
[図8]第一実施態様である化粧用コンパクトの操作を示す図。
[図9]第一実施態様である化粧用コンパクトの操作を示す図。
[図10]第一実施態様である化粧用コンパクトで蓋体を開けて棒状化粧料塗布具を取り出す状態を示す図。
[図11]第一実施態様である化粧用コンパクトで蓋体を閉じて棒状化粧料塗布具を取り出す状態を示す図。

[図12]第二実施態様である化粧用コンパクトの分解図。

[図13]第二実施態様である化粧用コンパクトの蓋体を閉じた状態を示す図。

[図14]第二実施態様である化粧用コンパクトの蓋体を開けた状態を示す図。

[図15]第二実施態様である化粧用コンパクトの引出部の分解図。

[図16]第二実施態様である化粧用コンパクトの操作を示す図。

[図17]第二実施態様である化粧用コンパクトの操作を示す図。

[図18]第二実施態様である化粧用コンパクトの操作を示す図。

[図19]第二実施態様である化粧用コンパクトで蓋体を開けて棒状化粧料塗布具を取り出す状態を示す図。

[図20]第三実施態様である化粧用コンパクトの分解図。

[図21]第三実施態様である化粧用コンパクトの引出部を示す図。

[図22]第三実施態様である化粧用コンパクトで蓋体を開けて棒状化粧料塗布具を取り出す状態を示す図。

符号の説明

- [0009] 1 第一実施態様である化粧用コンパクト
 - 1 1 本体
 - 1 1 1 保持部
 - 1 1 2 仕切板
 - 1 1 3 収容部
 - 1 1 4 凹条
 - 1 2 蓋体
 - 1 2 1 回動部
 - 1 2 2 被覆部
 - 1 3 引出部
 - 1 3 1 凹部
 - 1 3 2 凸条
 - 1 4 基体部
 - 1 4 1 長円突起

- 1 5 先端部
- 1 5 1 孔部
- 1 5 2 長孔部
- 1 5 3 回転部
- 1 6 枠体
- 1 7 化粧品パレット
- 2 第二実施態様である化粧用コンパクト
- 2 1 本体
- 2 1 1 保持部
- 2 2 蓋体
- 2 2 1 収容部
- 2 2 2 スリット
- 2 3 引出部
- 2 3 1 凹部
- 2 4 基体部
- 2 4 1 孔部
- 2 4 2 長孔部
- 2 4 3 回転部
- 2 5 先端部
- 2 5 1 長円突起
- 3 第三実施態様である化粧用コンパクト
- 3 1 本体
- 3 2 蓋体
- 3 3 引出部
- 3 3 1 凹部
- 3 3 2 仕切壁
- 3 3 3 側壁
- 3 3 4 低壁部

- 36 枠体
- 37 化粧料パレット
- 4 棒状化粧料塗布具

発明を実施するための形態

[0010] 本発明の化粧用コンパクトは、化粧料を保持する保持部を備える本体と、この本体に接続されて保持部を開閉する蓋体と、棒状化粧料塗布具を収納する凹部が形成されており、本体、蓋体のいずれか、または両方に出し入れ可能に收容される引出部と、を有する。

本発明の化粧用コンパクトが保持する化粧料は、棒状化粧料塗布具を用いて塗布する化粧料であれば特に限定されず、例えば、アイシャドウ、アイブロウ、チーク、コンシーラー、ファンデーション、練り香水、口紅等が挙げられる。

[0011] 以下、本発明の化粧用コンパクトを、その実施態様に沿って説明する。なお、本明細書において、引出部の引き出し方向を先端側、收容方向を奥側とする。

本発明の化粧用コンパクトは、下記に記載された実施態様に限定されることなく、本発明の範囲内において、かつ本発明の技術的思想に基づいて、各開示要素（請求の範囲、明細書及び図面に記載の要素を含む）に対し種々の変形、変更及び改良を含むことができる。また、本発明の請求の範囲の範囲内において、各開示要素の多様な組み合わせ・置換ないし選択が可能である。

[0012] 第一実施態様

本発明の第一実施態様である化粧用コンパクト1を、図1～11を用いて説明する。

第一実施態様である化粧用コンパクト1は、蓋体12を閉じた状態で直方体形状である。第一実施態様である化粧用コンパクト1は、服やかばんのポケットに容易に收容でき、女性が片手で取り扱いやすいように、蓋体12を閉じた状態で、奥行き6cm以上10cm以下、幅1cm以上4cm以下、

高さ1 cm以上3 cm以下であることが好ましく、奥行き7 cm以上9 cm以下、幅1.5 cm以上3.5 cm以下、高さ1 cm以上2.5 cm以下であることがより好ましい。

[0013] 第一実施態様である化粧用コンパクト1は、化粧料を保持する保持部111を備える本体11と、本体11に接続され、保持部111を開閉する蓋体12と、棒状化粧料塗布具4を収容する凹部131が形成され、本体11に出し入れ可能に収容される引出部13とを有する(図1~6)。

[0014] ・本体

本体11は、仕切板112により上下に分割されており、上方が化粧料を保持する保持部111であり、下方が引出部13を収容する収容部113である(図5)。

第一実施態様である化粧用コンパクト1において、化粧料は、化粧料パレット17をセットした枠体16を仕切板112に固定することにより、保持部111に保持される。なお、本発明の化粧用コンパクトにおいて、化粧料を保持部に保持する方法は特に限定されず、例えば、化粧料パレットをそのまま、または枠体にセットした状態で両面テープにより仕切板に貼り付ける方法、枠体を用いずに化粧料パレットをそのまま保持部に嵌め込む方法等を用いることができる。また、化粧料パレットの数や大きさも限定されない。

収容部113は、下面と奥面と先端面とが開放されている。収容部113は、側壁内面の上面に沿って凹条114が形成されており、凹条114の下面には小凹部が形成されている。

[0015] ・蓋体

蓋体12は、本体11の奥側で本体に対して回転可能に接続された回動部121と、回動部121から延びる被覆部122とを備える(図5)。被覆部122と枠体16とは、互いに嵌合する凹凸が設けられており、これらを解除、嵌合することにより、保持部111を開閉することができる。蓋体12は、その回転中心の高さ位置が、本体11の高さ方向中央に合わせられており、約180度回転可能である。蓋体12は、その内面、外面のいずれ

か、または両方を、鏡面とすることができる。蓋体 1 2 の外面が鏡面であると、蓋体 1 2 を閉じたまま、化粧をすることが容易である。また、蓋体 1 2 の両面が鏡面である場合は、一方の鏡面は拡大鏡または縮小鏡とすることが好ましい。

[0016] ・引出部

引出部 1 3 は、基体部 1 4 と、基体部 1 4 に対して屈曲可能に接続された先端部 1 5 とを備える（図 6）。引出部 1 3（基体部 1 4 と先端部 1 5）は、側壁外面の上面に沿って凸条 1 3 2 が形成されている。引出部 1 3 は、凸条 1 3 2 が凹条 1 1 4 にスライド可能に支持されることにより、収容部 1 1 3 に出し入れ可能に收容される。凸条 1 3 2 の下面には、小凸部が形成されており、この小凸部と凹条 1 1 4 に形成された小凹部とが干渉することにより、引出部 1 3 は、収容部 1 1 3 に固定されるとともに、抜け落ちが防止される。

[0017] 基体部 1 4 は、その奥側に、収容部 1 1 3 の奥面に突出する突起 1 4 3 を備えている。蓋体 1 2 を大きく開くと、蓋体 1 2 の回動部 1 2 1 が突起 1 4 3 と干渉して、引出部 1 3 が収容部 1 1 3 から押し出される。基体部 1 4 は、その下面を親指等で抑えてスライドさせることにより引出部 1 3 の出し入れ操作が可能であるため、操作しやすいように、下面に凹凸を設ける、下面を粗面化する、下面の少なくとも一部を摩擦係数の大きな素材で形成する等を行うことが好ましい。

基体部 1 4 は、側壁が先端部側に向けて底面より突出するように設けられており、この突出した部分の内面側に、出し入れ方向に延びる長円突起 1 4 1 が形成されている。

先端部 1 5 は、側壁から連続して側壁の内側に延びる腕部を備え、この腕部に長孔部 1 5 2 と回転部 1 5 3 とからなる略「P 字」状の孔部 1 5 1 が形成されている。長孔部 1 5 2 は出し入れ方向に伸び、回転部 1 5 3 は孔部 1 5 1 の基体部 1 4 側に形成されている。

基体部 1 4 の長円突起 1 4 1 を先端部 1 5 の孔部 1 5 1 に嵌め込むことに

より、基体部14に先端部15が接続される。

[0018] 引出部13は、基体部14と先端部15の両方に亘って、棒状化粧品塗布具4を収容する凹部131が形成されており、基体部14のみが仕切壁142を備える。仕切壁142により、2本の棒状化粧品塗布具を互いに接触することなく収容することができるため、棒状化粧品塗布具の汚れを防止することができる。

化粧用コンパクト1は、引出部13の奥行きが化粧用コンパクト1の奥行きとほぼ等しいため、化粧用コンパクト1の奥行きよりやや短い奥行き凹部131を設けることができる。そして、凹部131の奥行きが長いと、長くて持ちやすい棒状化粧品塗布具4を収納することができる。凹部131の奥行きは、化粧用コンパクト1の奥行き70%以上であることが好ましく、80%以上であることがより好ましく、85%以上であることがさらに好ましい。

[0019] ・第一実施態様である化粧用コンパクトの操作

化粧用コンパクト1の操作を、図7～9を用いて説明する。図7～9において、(B)は(A)のA-A断面図である。

蓋体12を大きく開くと、蓋体12の回転部121が基体部14の突起143と干渉し、引出部13が収容部113から押し出される。

さらに、引出部13を引き出し方向へ動かしても、長円突起141が長孔部152内に位置した状態では、基体部14に対して先端部15は屈曲することができない(図7)。

先端部15を基体部14から離れるようにスライドさせると、長円突起141が回転部153内に移動する(図8)。そして、長円突起141が回転部153内に位置すると、基体部14に対して先端部15が屈曲することができる(図9)。

[0020] 先端部15を下方に屈曲すると、凹部131に収納された棒状化粧品塗布具4の端部が露出する(図10)。そして、使用者は、棒状化粧品塗布具4の露出した端部を上方から摘んで容易に取り出すことができる。また、先端

部15が下方に屈曲した状態で、化粧用コンパクト1を傾け、棒状化粧料塗布具4を滑り落とすことにより、棒状化粧料塗布具4を取り出すことも容易である。

なお、化粧用コンパクト1は、蓋体12を閉じたまま、引出部13を収容部113から引き出し、先端部15を屈曲させて、棒状化粧料塗布具4を取り出すこともできる(図11)。

引出部13を収容する場合は、基体部14に先端部15を寄せて、長円突起141を長孔部153内に位置させた状態で、引出部13を収容方向に押し込めばよい。

[0021] ・第二実施態様

本発明の第二実施態様である化粧用コンパクト2を、図12~19を用いて説明する。

第二実施態様である化粧用コンパクト2は、蓋体22を閉じた状態で略円柱形状である。第二実施態様である化粧用コンパクト2は、服やかばんのポケットに容易に収容でき、女性が片手で取り扱いやすいように、蓋体22を閉じた状態で、長さ5cm以上8cm以下、直径1cm以上4cm以下であることが好ましく、長さ6cm以上7cm以下、直径2cm以上3cm以下であることがより好ましい。

第二実施態様である化粧用コンパクト2は、化粧料を保持する保持部211を備える本体21と、本体21に接続され、保持部221を開閉する蓋体22と、棒状化粧料塗布具4を収容する凹部231が形成され、蓋体22に出し入れ可能に収容される引出部23を備える(図12~15)。

[0022] ・本体

本体21は、半円柱状であり、化粧料を保持する保持部211を備える。保持部211には、4個の化粧料パレット27が嵌合されている。本体21は、各化粧料パレットの底面位置に対応した4個の開口が形成されており、この開口から化粧料パレット27の底面を押すことで、化粧料パレット27を保持部211から取り外して交換することができる。この開口は、本体2

1の外面を覆うカバー（図示せず）により、通常時は隠されている。

[0023] ・蓋体

蓋体22は、本体21に対して回転可能に接続されており、引出部23を収容する収容部221を備える。蓋体22の内面には、鏡面（図示せず）が設けられており、この鏡面の裏にはその両端近傍に狭幅部を備えるスリット222が形成されている。

本体21と蓋体22とは、互いに嵌合可能な凹凸を備え、これらを解除、嵌合することにより、保持部211を開閉することができる。蓋体22は、その回転中心の高さ位置が、本体21の高さ方向中央位置に合わせられており、約180度回転可能である。

[0024] ・引出部

引出部23は、基体部24と、基体部24に対して屈曲可能に接続された先端部25とを備える（図15）。

引出部23（基体部24）は、その奥壁の上面に突起が形成されている。この突起とスリット222の奥側の狭幅部とが干渉することにより、引出部23（基体部24と先端部25）は、収容部221に固定される。また、この突起とスリット222の先端側の狭幅部とが干渉することにより、引出部23（基体部24と先端部25）の抜け落ちが防止される。

[0025] 基体部24の先端部側の側面には、長孔部242と回転部243とからなる略「P字」状の孔部241が形成されている。長孔部242は出し入れ方向に伸び、回転部243は孔部241の先端部25側に形成されている。

先端部25は、側壁から連続して側壁の内側に延びる腕部を備え、この腕部の外面側に、出し入れ方向に延びる長円突起251が形成されている。

基体部24の孔部241に先端部25の長円突起251を嵌め込むことにより、基体部24に先端部25が接続される。また、長孔部242と長円突起251とは、互いに嵌合する小凸部と小凹部が形成されており、これらが嵌合することにより、基体部24に先端部25が固定される。

[0026] 引出部23は、基体部24と先端部25の両方に亘って、棒状化粧料塗布

具4を収容する凹部231が形成されている。基体部24と先端部25は、その当接面近傍で低くなっている仕切壁244、245を備える。化粧用コンパクト2は、仕切壁244、245により、2本の棒状化粧料塗布具を互いに接触することなく収容することができるため、棒状化粧料塗布具の汚れを防止することができる。

化粧用コンパクト2は、引出部23の奥行きが化粧用コンパクト2の奥行きとほぼ等しいため、化粧用コンパクト2の奥行きよりやや短い奥行き凹部231を設けることができる。そして、凹部231の奥行きが長いと、長くて持ちやすい棒状化粧料塗布具4を収納することができる。凹部231の奥行きは、化粧用コンパクト2の奥行き70%以上であることが好ましく、80%以上であることがより好ましく、85%以上であることがさらに好ましい。

[0027] ・第二実施態様である化粧用コンパクトの操作

化粧用コンパクト2の操作を、図16～18を用いて説明する。図16～18において、(A)は斜視図、(B)は側面図である。

第二実施態様である化粧用コンパクト2は、第一実施態様である化粧用コンパクト1と同様に、長孔部242内に長円突起251が位置した状態では、基体部24に対して先端部25は屈曲することができない(図16)。

第二実施態様である化粧用コンパクト2は、基体部24と先端部25との固定が、蓋部22(収容部221)と引出部23との固定より弱くなるように設計されており、先端部25の先端面を摘んで引っ張ると、まず、基体部24から先端部25が離れ、回転部243内に長円突起251が移動する(図17)。さらに先端面を引っ張ると、蓋体22(収容部221)から引出部23(基体部24と先端部25)が引き出される。

引出部23(基体部24と先端部25)は、回転部243内に長円突起251が位置した状態で蓋体22(収容部221)から引き出されるため、基体部24に対して先端部25が屈曲することができる。さらに、基体部24の底面と、先端部25の腕部には、先端部25が屈曲した際に接触する箇所

に切欠部が形成されている。この切欠部により、先端部 25 は、切欠部を備えない場合と比較して、より大きな角度で基体部 24 に対して屈曲することができる（図 18）。

[0028] 先端部 25 が下方に大きく屈曲することにより、棒状化粧品塗布具 4 の端部が露出する。そして、使用者は、棒状化粧品塗布具 4 の露出した端部を上方から摘んで容易に取り出すことができる。さらに、基体部 24 と先端部 25 とは、その当接面近傍で仕切壁 244、254 の高さが低くなっている。使用者は、仕切壁 244、254 に指が引っかかりにくいいため、棒状化粧品塗布具 4 を上方から把持して容易に取り出すことができる（図 19）。

なお、化粧用コンパクト 2 は、蓋体 22 を閉じたまま、引出部 23 を収容部 221 から引き出し、先端部 25 を屈曲させて、棒状化粧品塗布具 4 を取り出すこともできる。

引出部 23 を収容する場合は、基体部 24 に先端部 25 を寄せて、長孔部 242 内に長円突起 251 を位置させた状態で、引出部 23 を収容方向へ押し込めばよい。

[0029] 第三実施態様

本発明の第三実施態様である化粧用コンパクト 3 を、図 20～22 を用いて説明する。

第三実施態様である化粧用コンパクト 3 は、化粧品を保持する保持部を備える本体 31 と、本体 31 に接続され、保持部を開閉する蓋体 32 と、棒状化粧品塗布具 4 を収容する凹部 331 が形成され、本体 31 に出し入れ可能に収容される引出部 33 とを有する（図 20）。

第三実施態様である化粧用コンパクト 3 は、引出部 33 以外は第一実施態様である化粧用コンパクト 1 と同一であり、化粧品パレット 37 をセットした枠体 36 は、本体 31 の仕切板に固定される。

[0030] 以下、引出部 33 について説明する。

・引出部

引出部 33 は、一体に成形されている（図 21）。引出部 33 は、第一実

施態様である化粧用コンパクト1と同様に、側壁333の外面に、その上面に沿って凸条が形成されている。引出部33は、この凸条が収容部の凹条にスライド可能に支持されることにより、本体31の収容部にスライド可能に収容される。

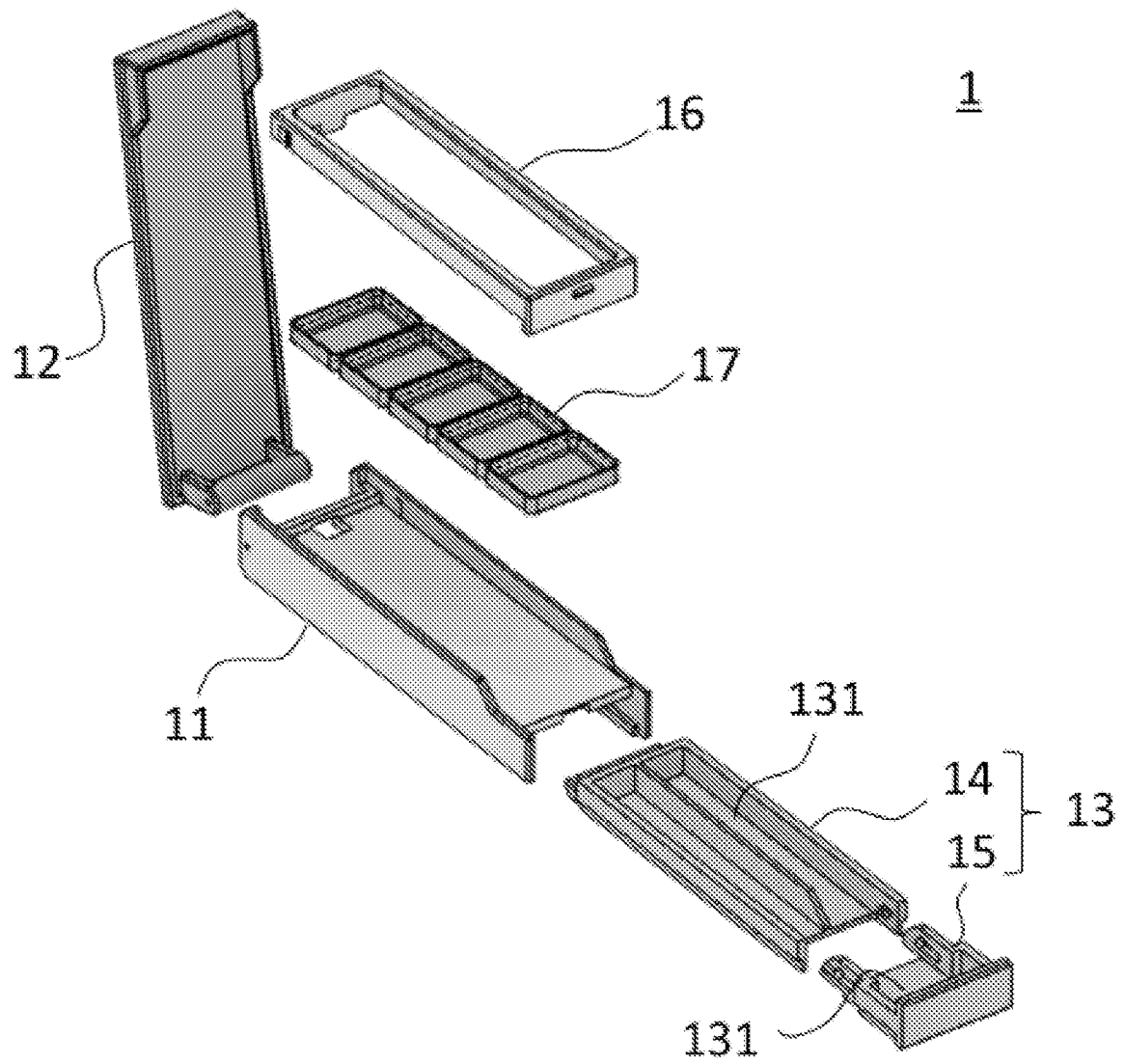
引出部33は、棒状化粧料塗布具4を収容する凹部331が形成されている。引出部33は、その側壁333の先端側に低壁部334を備えるとともに、奥面から先端側に向けて途中まで延びる仕切壁332が形成されている。仕切壁332は、先端側で奥側よりも低くなっていればよく、先端側に奥側よりも低い仕切壁が形成されていてもよい。仕切壁332により、2本の棒状化粧料塗布具を互いに接触することなく収容することができるため、棒状化粧料塗布具の汚れを防止することができる。

[0031] 化粧用コンパクト3は、側壁333の先端側に低壁部334が形成されており、使用者は、側壁333に指が引っかかることなく、収納された棒状化粧料塗布具4の側面を摘んで容易に取り出すことができる(図22)。さらに、化粧用コンパクト3は、先端側に仕切壁332が形成されていない。使用者は、仕切壁332に指が引っかからないため、収納された棒状化粧料塗布具4の側面を摘みやすい。

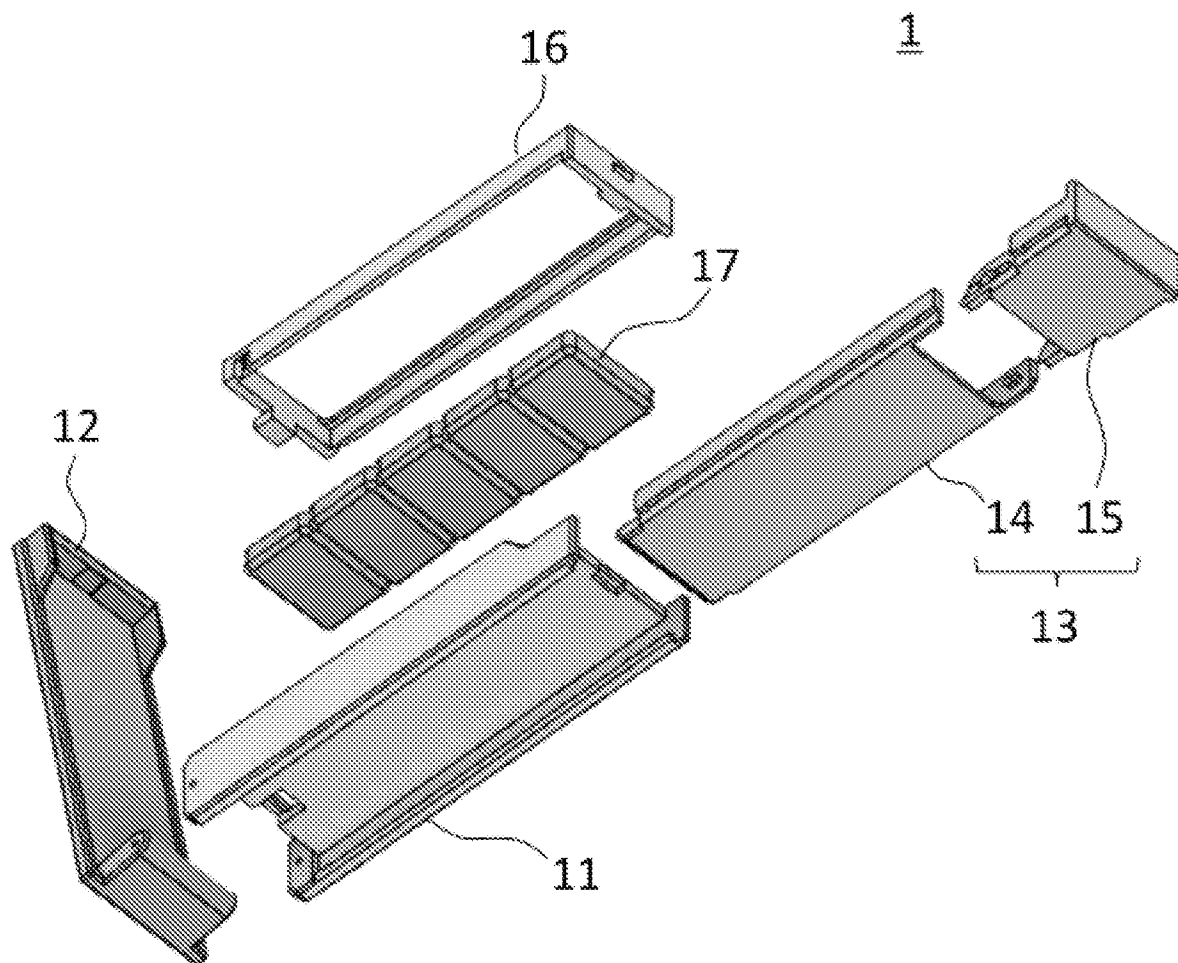
請求の範囲

- [請求項1] 化粧品を保持する保持部を備える本体と、
前記本体に接続され、前記保持部を開閉する蓋体と、
棒状化粧品塗布具を収納する凹部が形成され、前記本体、前記蓋体のいずれか、または両方に出し入れ可能に收容される引出部と、を有し、
前記引出部が、基体部と、前記基体部に対して屈曲可能に接続された先端部とを備えることを特徴とする化粧用コンパクト。
- [請求項2] 前記凹部が、前記基体部と前記先端部の両方に亘って形成されていることを特徴とする請求項1に記載の化粧用コンパクト。
- [請求項3] 前記基体部と前記先端部の一方が長円突起、他方が長孔部と回転部とからなる孔部を有し、
前記長円突起を前記孔部に嵌め込むことにより、前記先端部が前記基体部に接続されることを特徴とする請求項1または2に記載の化粧用コンパクト。
- [請求項4] 化粧品を保持する保持部を備える本体と、
前記本体に接続され、前記保持部を開閉する蓋体と、
棒状化粧品塗布具を収納する凹部が形成され、前記本体、前記蓋体のいずれか、または両方に対して出し入れ可能に收容される引出部と、を有し、
前記引出部が、先端側に低壁部を備える側壁を有することを特徴とする化粧用コンパクト。

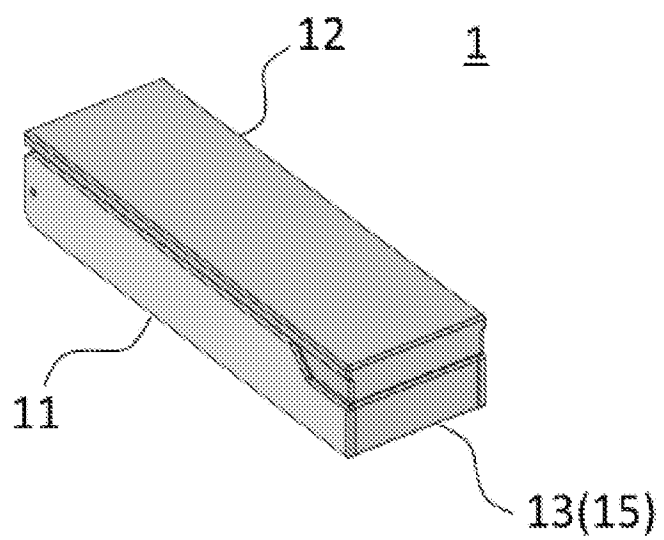
[図1]



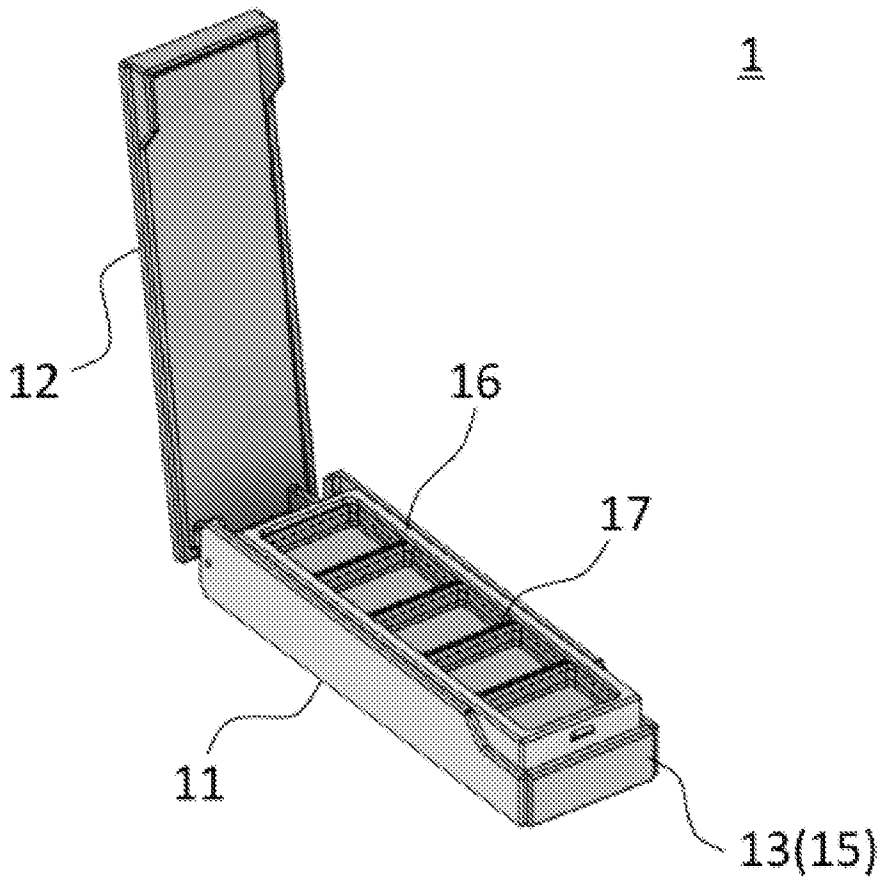
[図2]



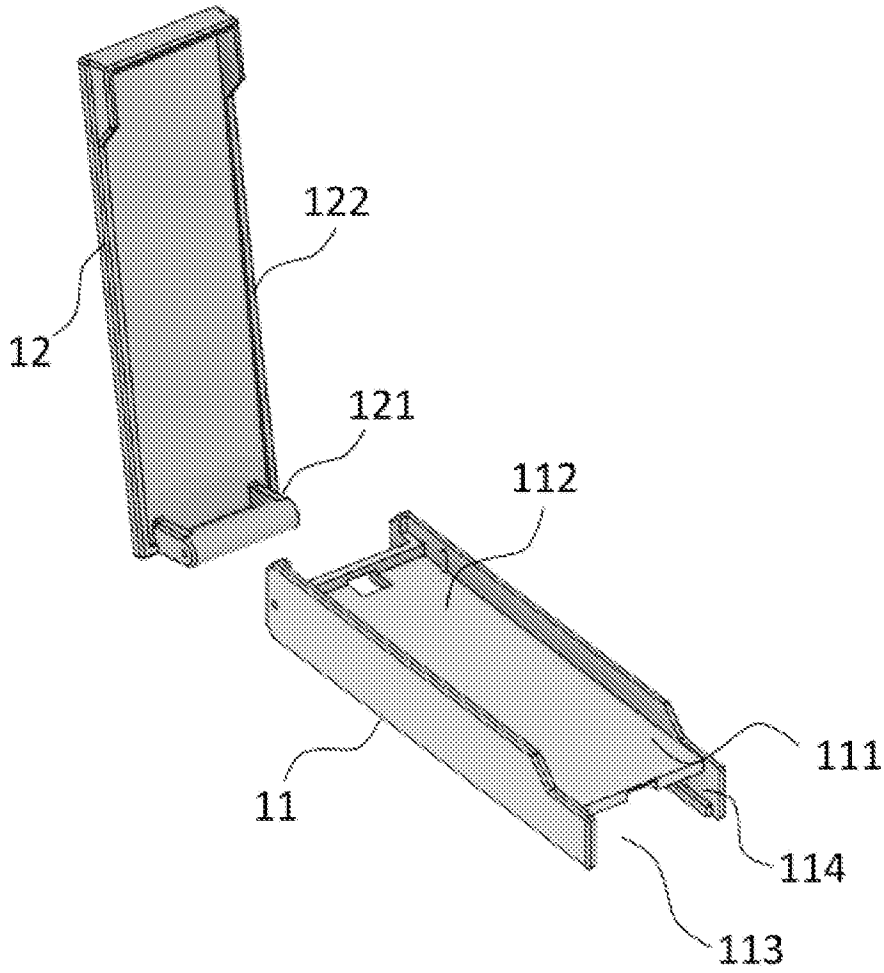
[図3]



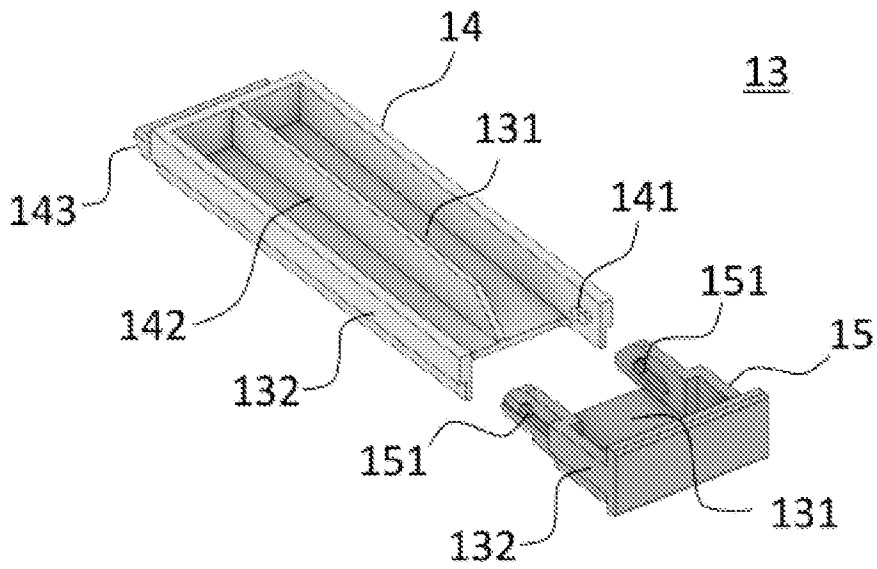
[図4]



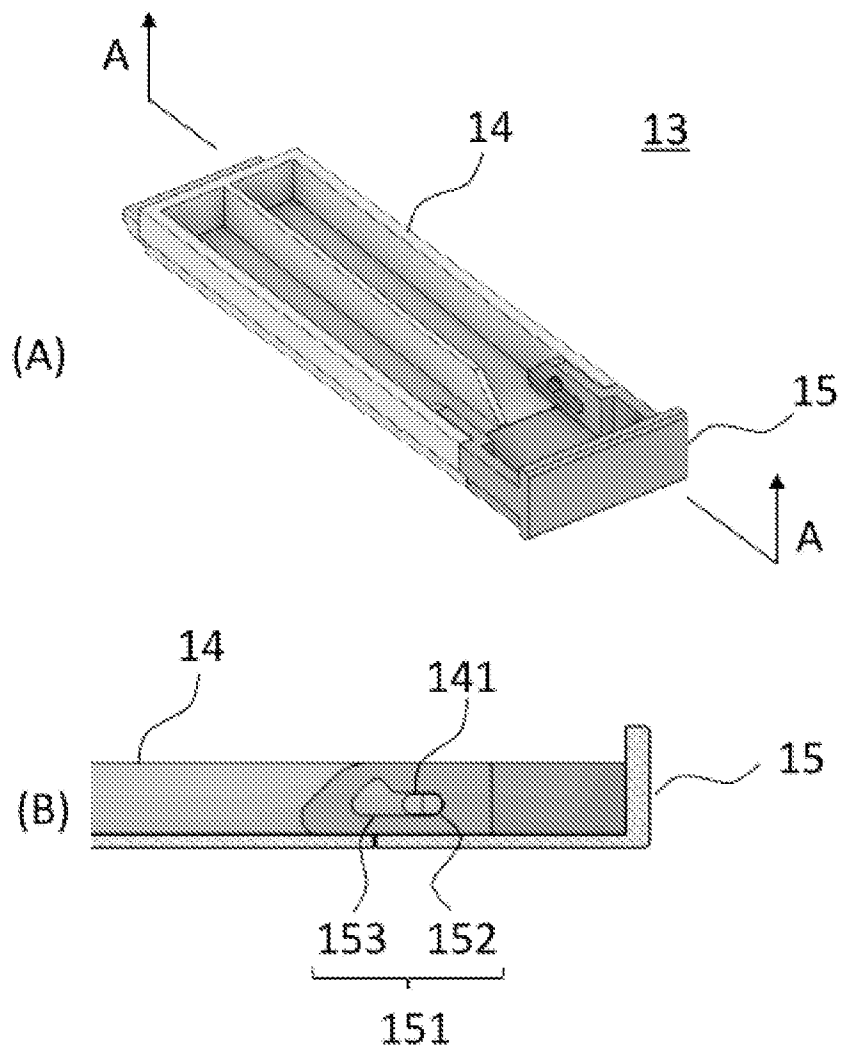
[図5]



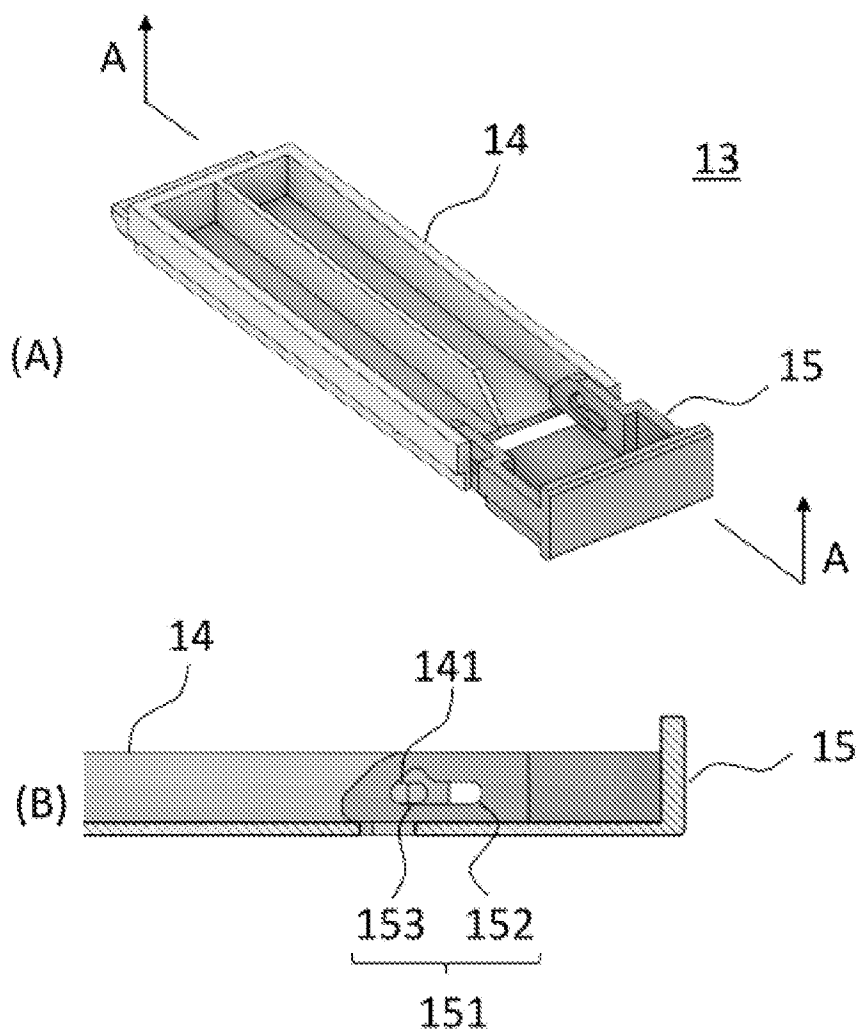
[図6]



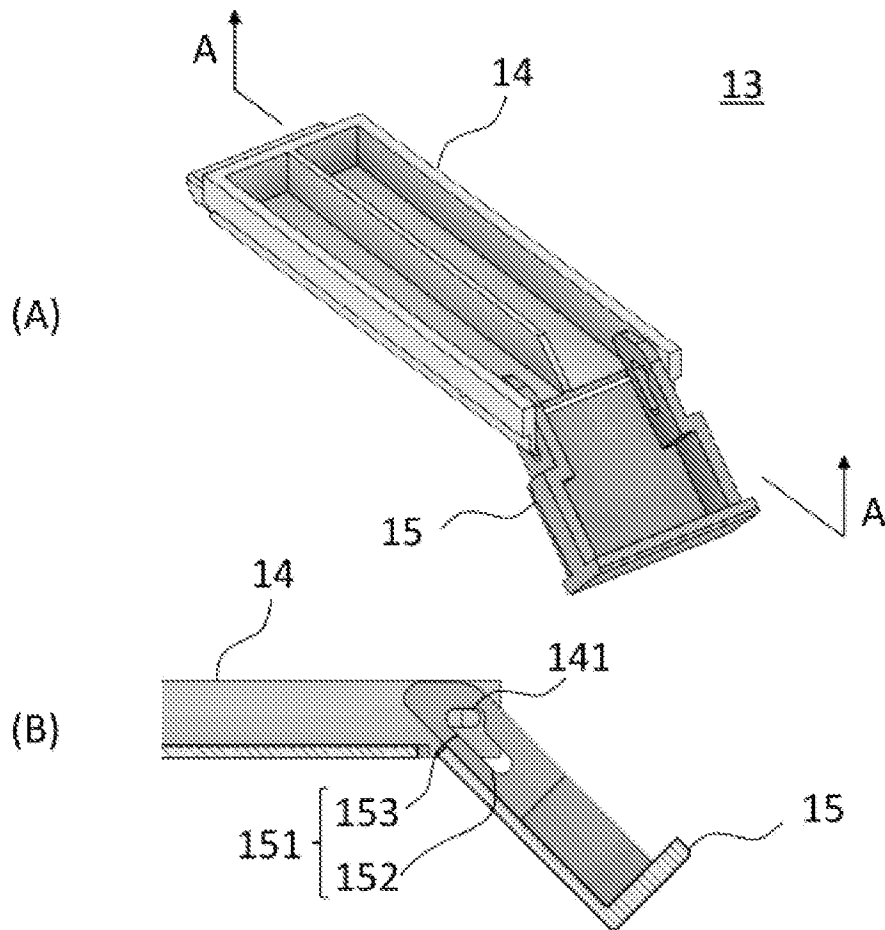
[図7]



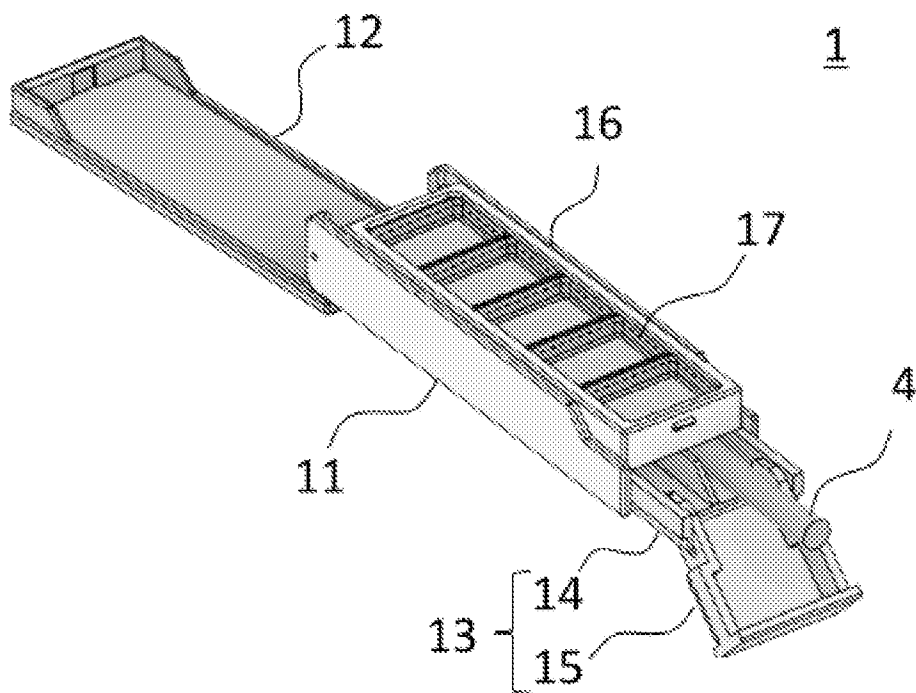
[図8]



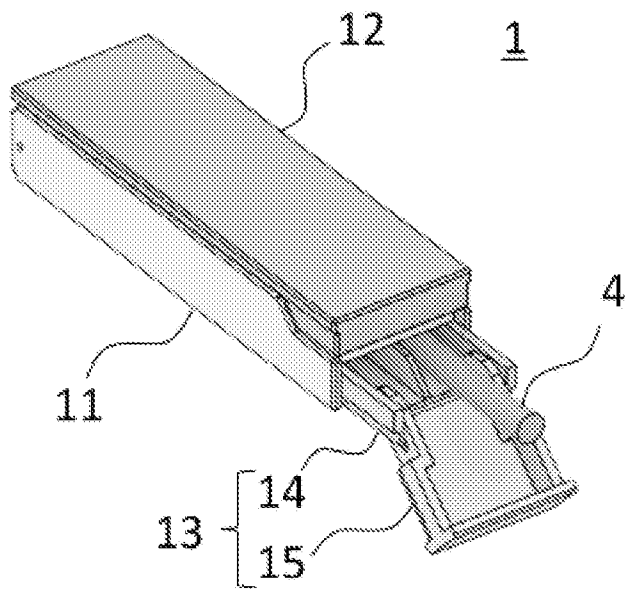
[図9]



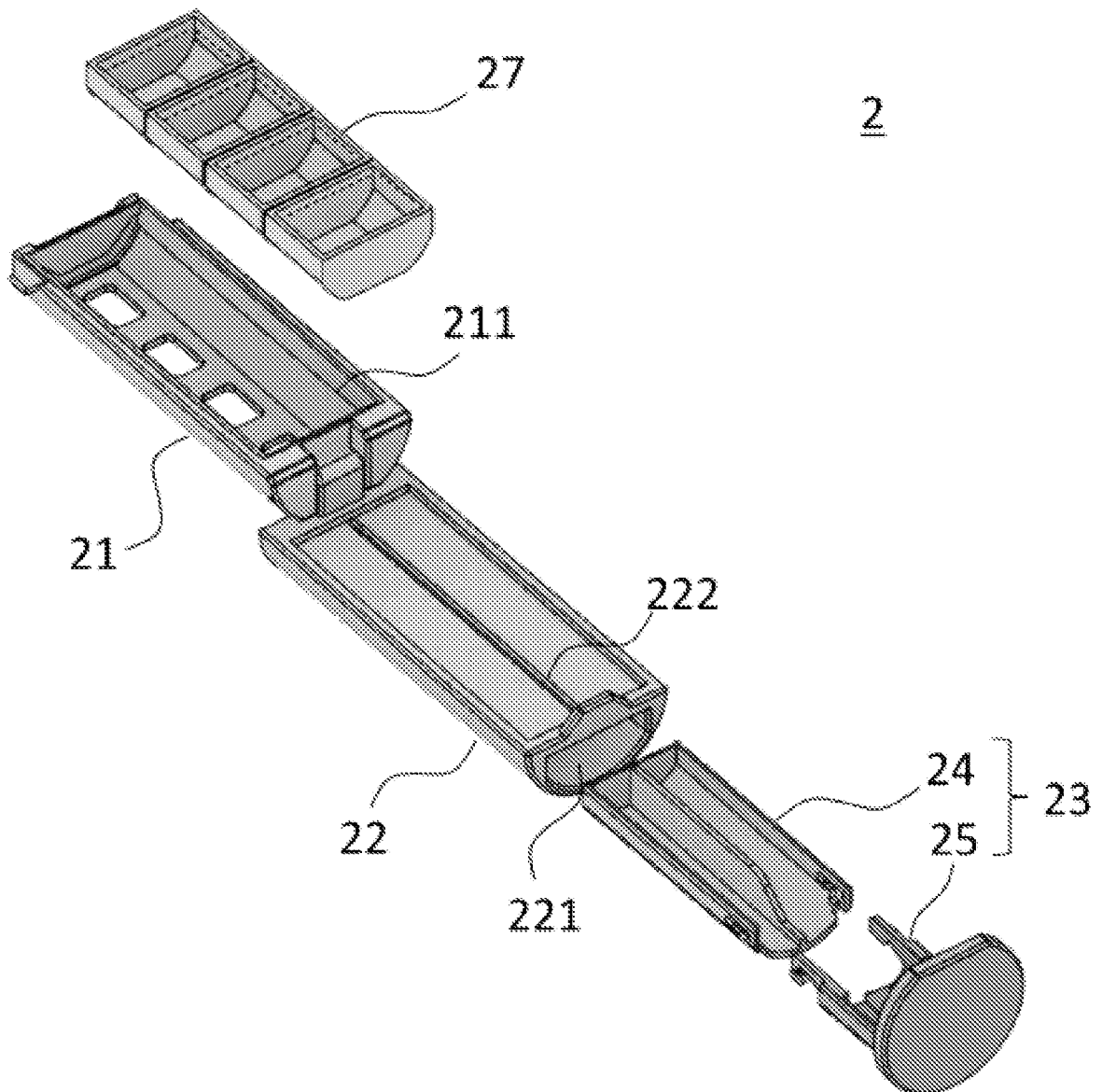
[図10]



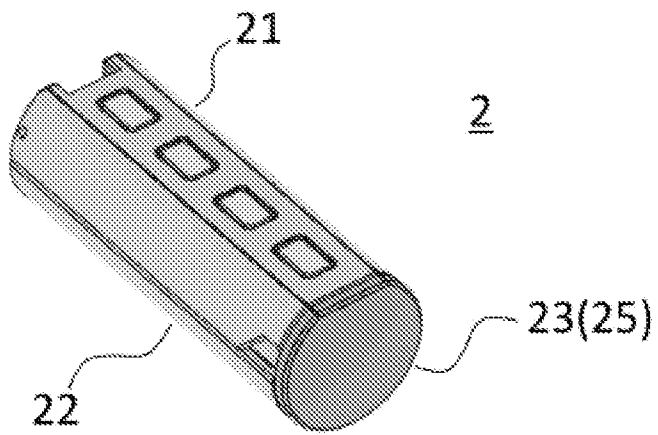
[図11]



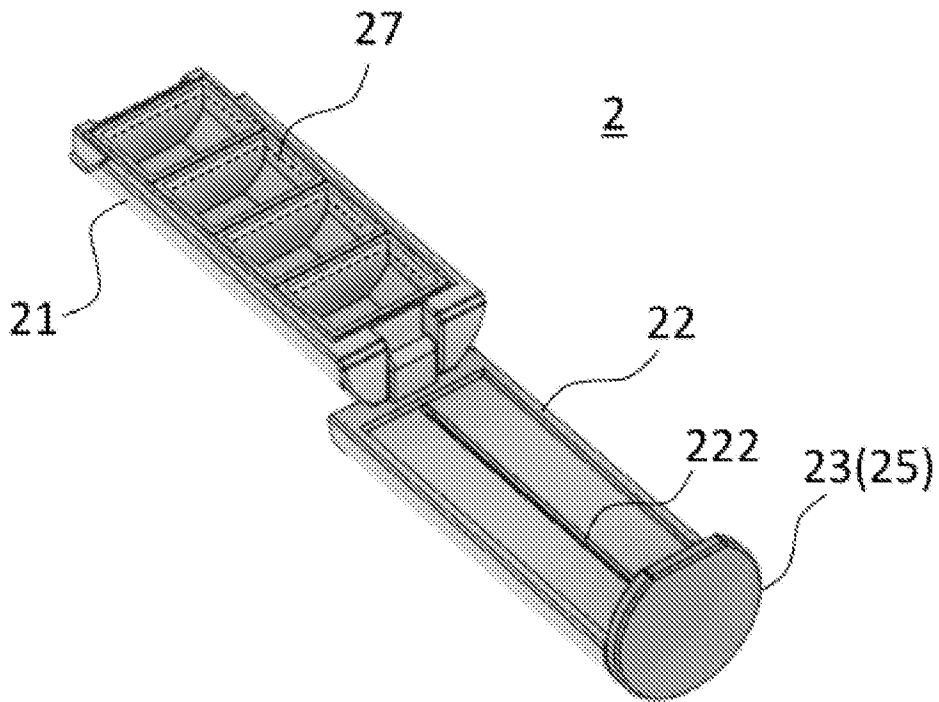
[図12]



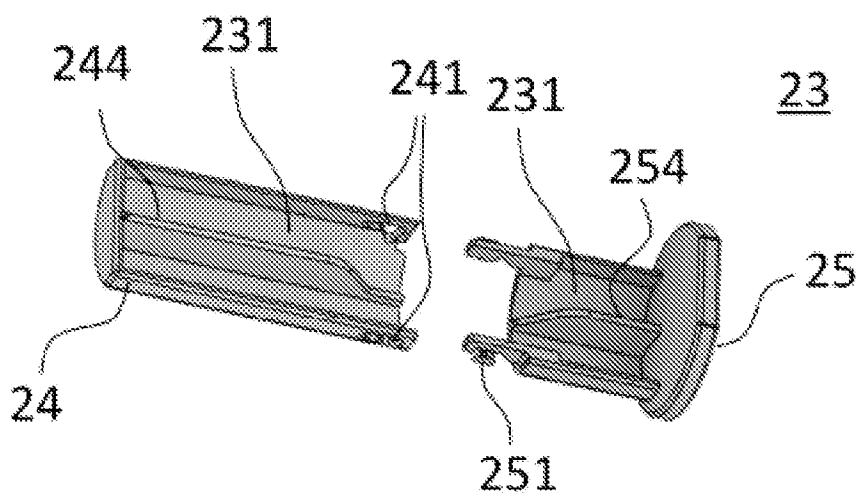
[図13]



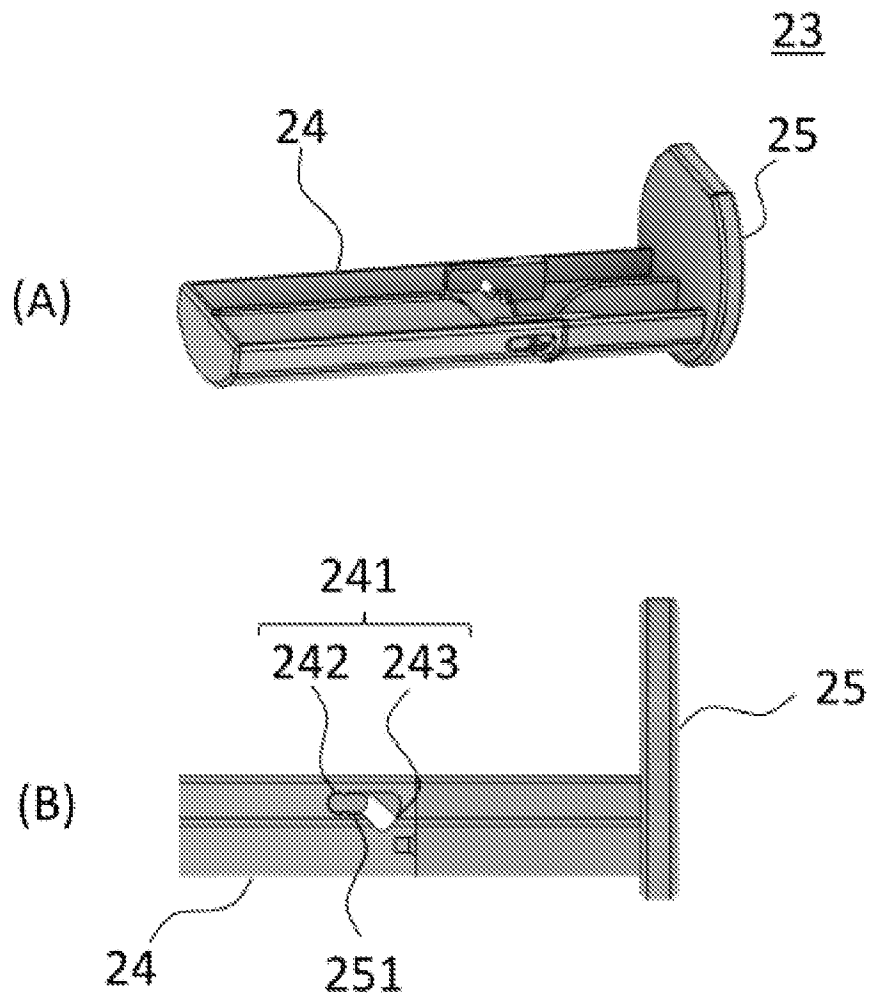
[図14]



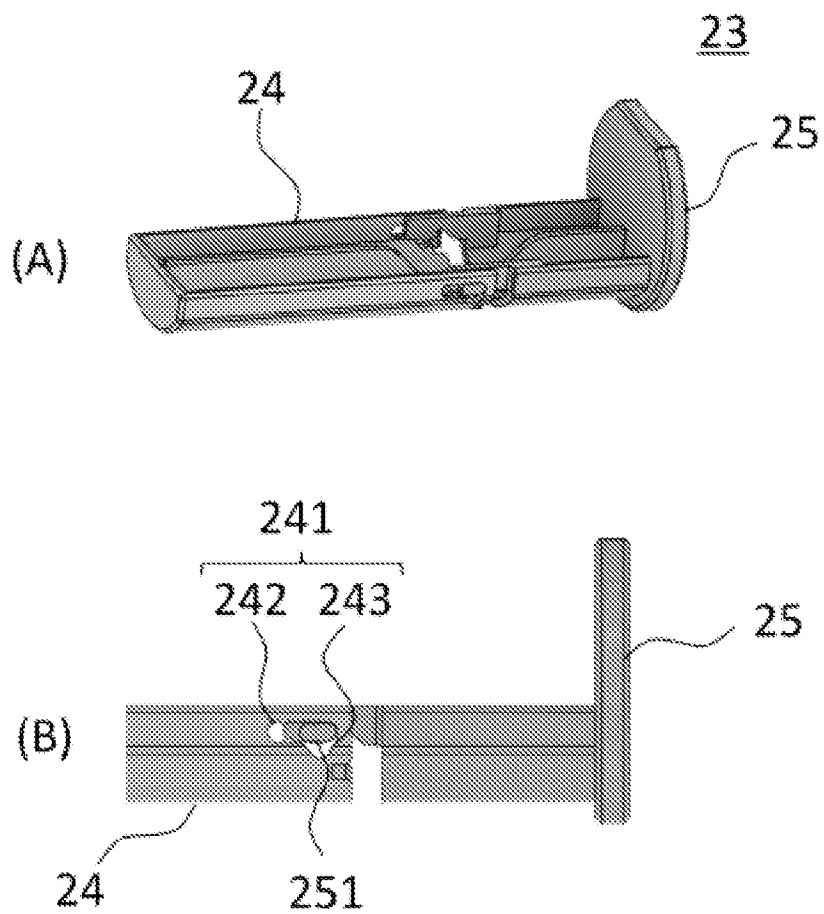
[図15]



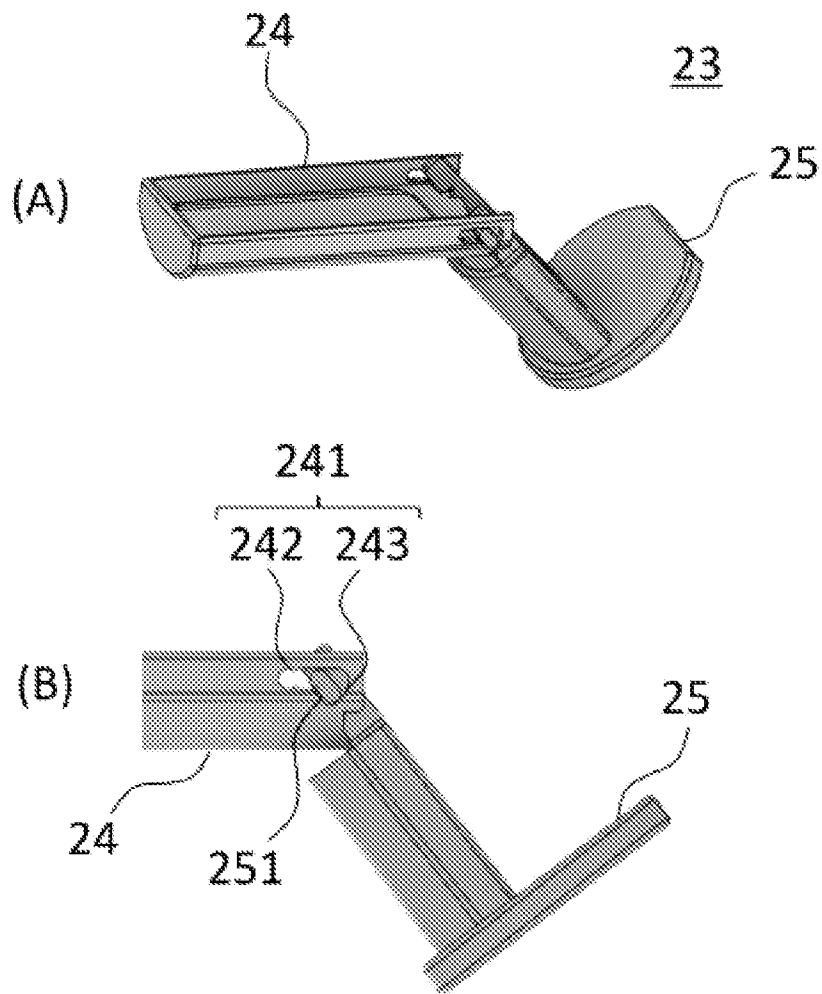
[図16]



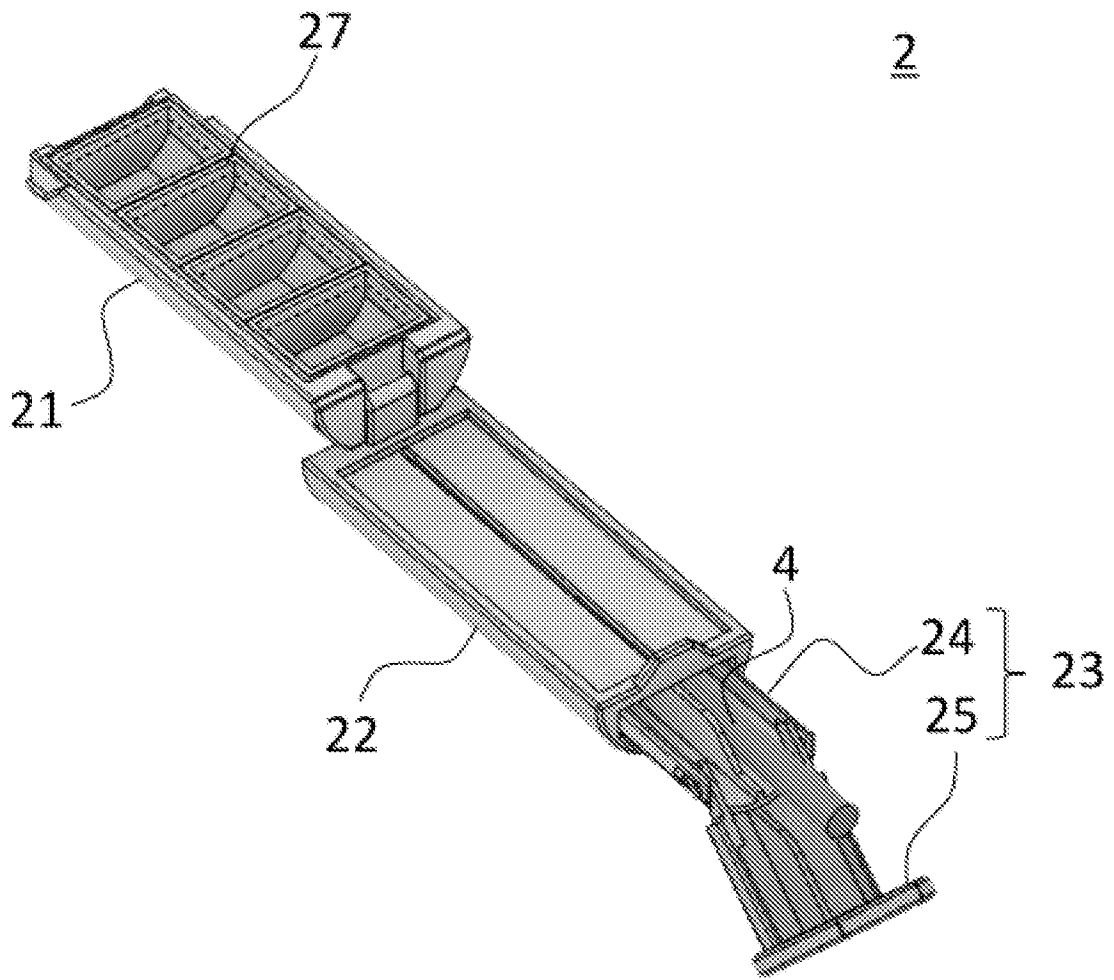
[図17]



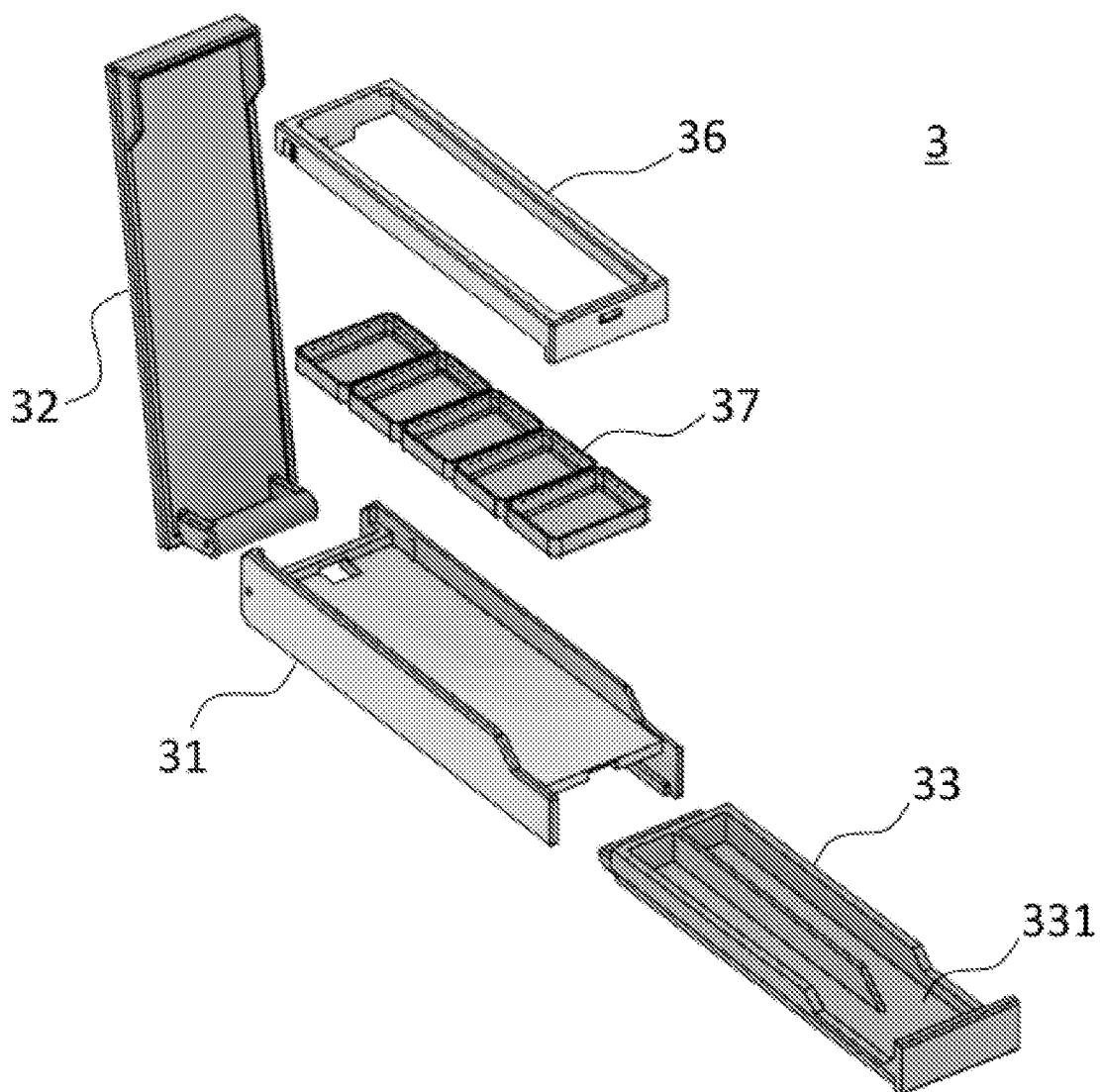
[図18]



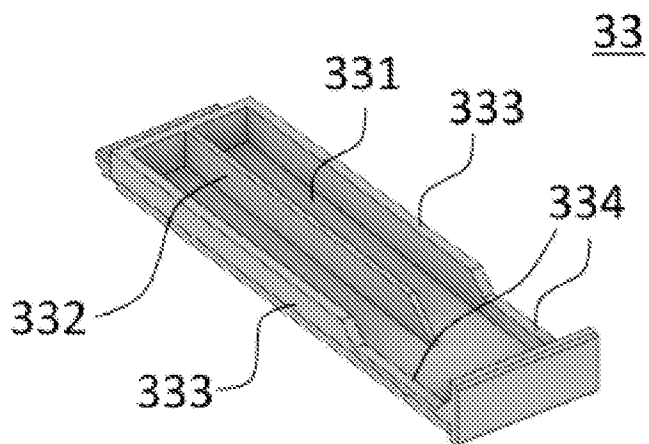
[図19]



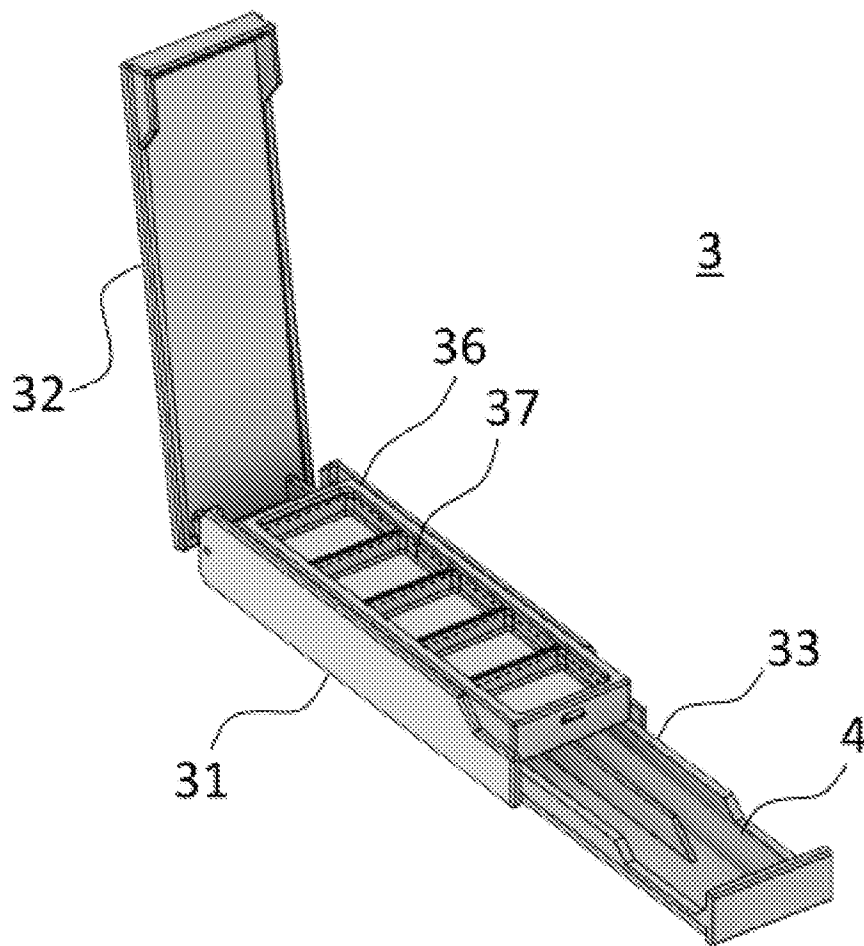
[図20]



[図21]



[図22]



INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2021/019166

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER
 A45D 33/00 (2006.01) i
 FI: A45D33/00 625A; A45D33/00 625C
 According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

B. FIELDS SEARCHED
 Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)
 A45D33/00

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Published examined utility model applications of Japan	1922-1996
Published unexamined utility model applications of Japan	1971-2021
Registered utility model specifications of Japan	1996-2021
Published registered utility model applications of Japan	1994-2021

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
X	JP 2004-275715 A (BYUN, Young-Kwang) 07 October	4
Y	2004 (2004-10-07) paragraphs [0018]-[0045], fig. 1-10	1-3
X	US 2004/0206370 A1 (BYUN, Young-Kwang) 21 October	4
Y	2004 (2004-10-21) paragraphs [0023]-[0031], fig. 1-6	1-3
Y	Microfilm of the specification and drawings annexed to the request of Japanese Utility Model Application No. 35509/1984 (Laid-open No. 147307/1985) (POLA CHEMICAL INDUSTRIES, INC.) 30 September 1985 (1985-09-30) fig. 2	1-3
Y	Microfilm of the specification and drawings annexed to the request of Japanese Utility Model Application No. 123760/1984 (Laid-open No. 39013/1986) (KOBAYASHI KOSE CO., LTD.) 12 March 1986 (1986-03-12) fig. 1-2	1-3
Y	JP 2010-504831 A (ELC MANAGEMENT LLC) 18 February 2010 (2010-02-18) fig. 4, 6, 8	1-3

Further documents are listed in the continuation of Box C. See patent family annex.

* Special categories of cited documents:	"I" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention
"A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance	"X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone
"E" earlier application or patent but published on or after the international filing date	"Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art
"L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)	"&" document member of the same patent family
"O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means	
"P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed	

Date of the actual completion of the international search 25 June 2021 (25.06.2021)	Date of mailing of the international search report 06 July 2021 (06.07.2021)
--	---

Name and mailing address of the ISA/ Japan Patent Office 3-4-3, Kasumigaseki, Chiyoda-ku, Tokyo 100-8915, Japan	Authorized officer Telephone No.
--	---

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2021/019166

C (Continuation). DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
Y	US 4666036 A (ETS A. BOURBON & FILS) 19 May 1987 (1987-05-19) fig. 2-4	1-3

INTERNATIONAL SEARCH REPORT
Information on patent family members

International application no.

PCT/JP2021/019166

Patent Documents referred in the Report	Publication Date	Patent Family	Publication Date
JP 2004-275715 A	07 Oct. 2004	US 2005/0172981 A1 paragraphs [0033]- [0060], fig. 1-10 EP 1459646 A1 KR 10-2004-0081883 A	
US 2004/0206370 A1	21 Oct. 2004	EP 1468624 A1 KR 10-0489750 B1 (Family: none)	
JP 60-147307 U1	30 Sep. 1985	(Family: none)	
JP 61-39013 U1	12 Mar. 1986	(Family: none)	
JP 2010-504831 A	18 Feb. 2010	US 2008/0142532 A1 fig. 4, 6, 8 KR 10-2009-0051104 A	
US 4666036 A	19 May 1987	DE 3535701 A1 FR 2571698 A1	

A. 発明の属する分野の分類（国際特許分類（IPC）） A45D 33/00(2006.01)i FI: A45D33/00 625A; A45D33/00 625C		
B. 調査を行った分野 調査を行った最小限資料（国際特許分類（IPC）） A45D33/00 最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの 日本国実用新案公報 1922-1996年 日本国公開実用新案公報 1971-2021年 日本国実用新案登録公報 1996-2021年 日本国登録実用新案公報 1994-2021年		
国際調査で使用した電子データベース（データベースの名称、調査に使用した用語）		
C. 関連すると認められる文献		
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求項の番号
X	JP 2004-275715 A (ヨン クワン ビュン) 07.10.2004 (2004-10-07) 段落[0018]-[0045]、図1-10	4
Y		1-3
X	US 2004/0206370 A1 (BYUN, Young-kwang) 21.10.2004 (2004-10-21) 段落[0023]-[0031]、図1-6	4
Y		1-3
Y	日本国実用新案登録出願59-35609号(日本国実用新案登録出願公開60-147307号)の願書に添付した明細書及び図面の内容を撮影したマイクロフィルム (ポラ化成工業株式会社) 30.09.1985 (1985-09-30) 第2図	1-3
Y	日本国実用新案登録出願59-123760号(日本国実用新案登録出願公開61-39013号)の願書に添付した明細書及び図面の内容を撮影したマイクロフィルム (株式会社小林コーセー) 12.03.1986 (1986-03-12) 第1-2図	1-3
Y	JP 2010-504831 A (イーエルシー マネージメント エルエルシー) 18.02.2010 (2010-02-18) 図4、図6、図8	1-3
<input checked="" type="checkbox"/> C欄の続きにも文献が列挙されている。 <input checked="" type="checkbox"/> パテントファミリーに関する別紙を参照。		
* 引用文献のカテゴリー “A” 特に関連のある文献ではなく、一般的な技術水準を示すもの “E” 国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの “L” 優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献（理由を付す） “O” 口頭による開示、使用、展示等に言及する文献 “P” 国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願の日の後に公表された文献	“T” 国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と抵触するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの “X” 特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの “Y” 特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの “&” 同一パテントファミリー文献	
国際調査を完了した日 25.06.2021	国際調査報告の発送日 06.07.2021	
名称及びあて先 日本国特許庁 (ISA/JP) 〒100-8915 日本国 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号	権限のある職員（特許庁審査官） 田村 恵里加 3K 4656 電話番号 03-3581-1101 内線 3332	

国際調査報告
 パテントファミリーに関する情報

国際出願番号

PCT/JP2021/019166

引用文献	公表日	パテントファミリー文献	公表日
JP 2004-275715 A	07.10.2004	US 2005/0172981 A1 段落[0033]-[0060]、図1-10 EP 1459646 A1 KR 10-2004-0081883 A	
US 2004/0206370 A1	21.10.2004	EP 1468624 A1 KR 10-0489750 B1	
JP 60-147307 U1	30.09.1985	(ファミリーなし)	
JP 61-39013 U1	12.03.1986	(ファミリーなし)	
JP 2010-504831 A	18.02.2010	US 2008/0142532 A1 図4、図6、図8 KR 10-2009-0051104 A	
US 4666036 A	19.05.1987	DE 3535701 A1 FR 2571698 A1	